

上下すいどうだより

No.56
2024.7.1



制度をご利用いただき水洗化にご協力ください

私道に下水道を布設するには

市が整備する公共下水道は、主に公道部分に布設しています。私道沿線にお住いの皆さんが下水道を使用したい場合は、沿線の皆さんの費用で、共同の排水設備を設置していただかなければなりません。

しかし、これでは私道沿線の皆さんの費用負担も多額となるため、私費での工事が困難なことがあります。そこで、一定の要件が整えば利用いただける「特設排水管布設制度」や「共同排水設備工事補助金交付制度」を設けていますので、まずはご相談ください。



お問い合わせ
下水道整備課
☎99-8152

水道料金及び下水道使用料の福祉減免制度の廃止について

令和6年3月31日をもって福祉減免制度を廃止しました。なお、令和6年3月31日現在で福祉減免制度に該当している方については、経過措置期間として、令和9年3月分まで特に手続きすることなく、現状と変わらず福祉減免の対象となります(ただし、その間に福祉減免制度の対象外となった場合は、再度対象にはなりません)。

お問い合わせ お客さまサービス課
☎99-8149

和泉市の各種ハザードマップをご活用ください

和泉市では4種類のハザードマップや防災ガイドマップを作成しています。お住いの場所や地域に起こるかもしれない災害から身を守るために確認しておきましょう。

和泉市 防災ガイドマップ・ハザードマップ 検索

内水ハザードマップ

下水道の排水能力を超えるような大雨が降ると、道路などで水があふれる浸水害【内水氾濫(ないすいはらん)】が発生するおそれがあります。

そこで、和泉市内で内水氾濫がおこった場合に浸水が想定される範囲や、浸水する深さ、避難所や避難に関する情報を掲載した「内水ハザードマップ」を作成しています。

お住いの周辺の状況を知り、少しでも浸水による被害が軽減できるようお役立てください。

下水道整備課 ☎99-8152

和泉市 内水ハザードマップ 検索

防災ガイドマップ

市内の避難所や防災マップ、地震・風水害・土砂災害が起きたときの対策方法などを掲載したものです。

危機管理課 ☎99-8104

洪水ハザードマップ

大雨による河川氾濫(外水氾濫)の状況を予測し、洪水による被害を想定し、土砂災害のおそれがある区域とあわせてマップとしてまとめたものです。

都市整備室道路河川担当 ☎99-8138

地震ハザードマップ 地域危険度マップ

和泉市域に影響を及ぼすおそれのある地震が発生した場合に、想定される震度及び建物の倒壊率を図示したものです。

建築・開発指導室建築指導担当 ☎99-8141

ため池ハザードマップ

ため池の耐用能力を超える大雨や大規模な地震により、ため池が決壊した場合の浸水区域や水深を想定し、マップとしてまとめたものです。ため池ごとに随時作成しています。

産業振興室農林担当 ☎99-8125

和田浄水場 夏休み 施設見学会



和田浄水場を見学することで、水質の保全や水の大切さを知っていただけるよう施設見学会を行います。

場所 和田浄水場(和泉市和田町1番地) 募集対象 和泉市在住の小学生とその保護者または関係者
実施内容 施設見学、実験など 募集組数 各回10組まで(先着順)
日時 8月3日(土) 募集期間 7月10日(水)~26日(金)
(第1回 午前9時30分~) 定員に達すれば締切
(第2回 午前11時00分~) 見学時間約1時間/回
※各回開始の10分前に和田浄水場に集合
※浄水場内、駐車場あり

機構改革により お問い合わせ先が変わりました

お問い合わせ先一覧

お客さまサービス課	99-8149	上下水道料金・検針等に関するごこと	
	99-8150	水洗便所改修工事・下水道事業受益者負担金の賦課徴収等に関するごこと	
下水道整備課	99-8152	公共下水道の計画、整備、維持管理及び浄化槽事業に関するごこと	
経営総務課	99-8148	上下水道事業の経営・総務に関するごこと	
水道施設室	水道施設整備担当	92-8168	水道施設の整備計画や工事に関するごこと
	水道施設管理担当	99-8151	給水装置工事申請、補修工事、水道施設の維持管理等、浄配水や水質に関するごこと

令和6年能登半島地震から半年 災害時に水道・下水道は使えるの？



普段からどんな備えをしているのかな？

上下水道部では、施設の耐震化や耐震管への布設替えなどを実施し、地震などの災害により上下水道が使えなくなった場合でも、市民の皆さんに飲料水などの提供や、下水道施設を利用できる工夫などを行っています。

災害を皆さんと一緒に乗り越えられるよう、この機会に私たちにできる災害への備えを一緒に考えてみませんか。

みんなで備えることが大事だよ



能登半島地震

応急給水 派遣職員が見た 被災地の 上下水道



和泉市からの応援職員の派遣

派遣先 石川県七尾市・穴水町・能登町
応援業務 応急給水、漏水調査
人員 延べ9名

和泉市からも応援に行ったんだね

水道施設室 Sさん

被災自治体の要請により、断水となっている避難所等で給水車による応急給水活動を実施しました。

現地では家屋の倒壊や地面のひび割れなど、地震のエネルギーの大きさを目の当たりにし、一刻も早く水を届けたいという気持ちになりました。

被災された皆さんからは「ありがとう、気を付けて」と温かい言葉をいただき力付けていただきました。

この応急給水活動を通じて、災害時には「水」は何よりも大切であると改めて感じました。



液状化現象で突如したマンホール



令和6年度 水道・公共下水道・公共浄化槽事業会計予算概要

水道事業会計

災害に強いライフラインの確保

市内へ安定した給水を行うため、管路の計画的な整備を行うとともに、老朽化した管路の更新と耐震化に取り組み、災害に強いライフラインの確保に努めます。

予算の内訳

水をお届けするための収支	施設を整備するための収支
収入 34億2,653万円	収入 7億5,115万円
支出 33億110万円	支出 18億9,985万円

業務予定量

給水戸数	80,900戸
年間給水量	17,622,701m ³
1日平均給水量	48,281m ³
おもな建設改良事業	10億7,905万円
送・配水管布設工事	
口径75mm~400mm	3,915m

公共下水道事業会計

安心して下水道を利用いただくために

快適な生活環境を確保するため、国庫補助金や企業債を活用し下水道を着実に整備するとともに、水洗化を促進します。また、安心して下水道を使っていたけよう適切な維持管理に努めます。

予算の内訳

汚れた水を処理するための収支	下水道を整備するための収支
収入 41億1,437万円	収入 14億3,607万円
支出 38億4,867万円	支出 29億4,819万円

業務予定量

水洗化人口	152,000人
年間有収水量	15,922,000m ³
おもな建設改良事業	9億3,213万円
下水道管布設工事	
口径200mm~600mm	2,589m

公共浄化槽事業会計

公共浄化槽を整備するために

生活排水の適正な処理を促進し、住民の生活環境の向上及び公共用水域の水質保全に資することを目的として、下水道全体計画区域以外の地域において市が主体となって合併処理浄化槽の設置及び維持管理を行います。

予算の内訳

汚れた水を処理するための収支	
収入	3,467万円
支出	3,467万円
浄化槽を整備するための収支	
収入	881万円
支出	881万円



地震などの水道や下水道が災害で使えなくなったらどうすればいいの!?

自助 共助 公助



地震などの大規模災害が起こると、地面の下に埋められている水道管や下水道管は大きな被害を受けることが想定されます。また、停電などが起これば水道水を送れなくなったり、集まった下水をポンプの力でくみ上げることができなくなります。和泉市上下水道部では、地震に強い上下水道の施設づくりを目指すとともに、もしも使えなくなった時のために備えています。

普段から自助「もしも」に備えておきましょう

被災直後は普段からの備蓄が活躍します。

発災直後は状況の把握を行ったうえで今後の公的機関の活動が計画されます。災害の規模によっては市の初動体制が整うまでに数日を要する場合があります。また、大地震などの災害で下水道管や処理場が被害を受けると、直接の被害がない地域でも下水が流せなくなる場合があります。普段から「もしも」に備えておきましょう。

普段から水(飲料水)を備蓄しておきましょう

1人1日 家族数
3L×3日以上×□人=□L

普段から携帯用トイレを備蓄しておきましょう

1人1日 家族数
5回×3日以上×□人=□個

このほかにも食料や常備薬など、何が必要になるか考えてみましょう



共助 普段からご近所さんと助け合う気持ちで災害について話しましょう

水を確保できるようにしています

平成7年の阪神・淡路大震災では水の全戸通水完了に90日以上の期間がかかりました。この教訓をもとに上下水道部では、非常時の飲料水を確保する取り組みを行っています。

配水池の水を確保します

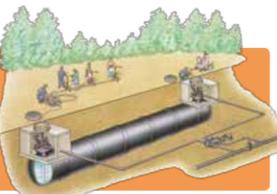
市内の主要な配水池(6か所)に水の流出を防ぐため「緊急遮断弁」を設置しており、応急的に飲料水を確保することができます。



組立式簡易貯水槽

配水管の水を確保します

直径2,600mmのパイプ構造で、普段は皆さんのご家庭へ水を送る配水管の一部として、絶えず新鮮な水が循環しています。災害などにより水圧が低下した場合、自動的に遮断弁が作動し、大きなタンクとして100m³を貯水できる耐震性緊急貯水槽を設置しています。



耐震性緊急貯水槽

下水道施設の利用は工夫しましょう

●避難所では

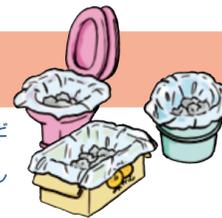
避難所では衛生環境の悪化やトイレに行く回数を減らそうと水分摂取を控え脱水症になるなど健康被害の事例が報告されています。心身の健康を維持するために、市では避難所のトイレ機能を確保するよう努めています。

●ご家庭では

地中の下水道管が破損した場合、下水道を使い続けると下水が次第に流れなくなることがあります。下水道を使う前にご自宅の宅内排水設備を点検願います。マンションなどの集合住宅では管理者の指示に従い下水道の使用を判断ください。

避難所やご家庭でできる緊急時の簡易トイレ

便器または容器にビニール袋をかぶせ、新聞紙などの紙を細かく破いたものを入れます。*ホームセンターなどで販売している携帯用トイレを自身で備えるのも有効です。



ご協力いただきたいこと

- 給水容器の持参
- 水を受け取る時のお手伝い(皆さんで助け合って運んでください)
- 組立式簡易貯水槽の水が少なくなったときの連絡 など

みんなの思いやりとマナーで乗り越えようね

公助 和泉市上下水道部では災害に備えています

どんな時でも安全・安心な水道水の安定供給と快適な生活環境の向上を目指しています。

上下水道施設は、みなさまの暮らしや街を維持するための基本的な施設であり「地震によって被害を受けても、可能な限り使えるようにしておく」ことが重要です。

災害に備えた対策も進めているんだ



水道管の耐震化を進めています

平成元年頃から耐震化の採用を始め、今ではすべての配水管に耐震管を採用し(口径75mm以上)、新設や布設を進めています。和泉市の全ての管路約586kmのうち約258kmが耐震管もしくは耐震適合性がある管路になっています。

配水場も備えています

市内の水道施設は順次耐震化を進めています。また、送水設備のある主要施設には停電に備えて自家発電機を設置しています。



近隣市や他府県の水道事業者と人員や資機材の応援要請等の連絡体制を構築しています

災害時の水の使い方



*災害時の応急給水・応急復旧体制が構築されており、時間が経過するにつれ、給水量が増え安定していきます。

能登半島地震 漏水調査応援派遣職員が見た被災地の上下水道

水道施設室 Kさん

断水が続く地域に水道水を供給するため、新しく設置したステンレス製の配水池(水道水を一時的に溜めておくための施設)を稼働させ、布設された水道管に異常がないか漏水調査を実施しました。

漏水探知機、音聴棒と呼ばれる器具を使用し、全長2kmの水道管を少しずつ点検する地道な作業ですが、安全・安心な水道開通には欠かせない大事な仕事です。今回の地震では非常に多くの箇所水道施設が破損し広範囲での断水が長期間続いていたため、無事に水をお届けすることができた家庭からは「本当に助かりました、ありがとうございました」とお声を頂き、水道の大切さをあらためて実感しました。



新しく設置した配水池



音聴棒で漏水調査

●インフォメーション マンションや集合住宅などの管理者の方へ

停電による断水に備えましょう

災害等で停電した場合の対策

貯水槽水道は、電動ポンプで水を送っているため、停電時には断水する恐れがあります。停電やポンプの不具合等により、貯水槽内の水が送水できず断水が発生した場合は、貯水槽設置者の責任となり、貯水槽設置者による住民への対応が必要になります。いざというときに備え対策をしておきましょう。

例 水道水が貯水槽に入る手前のじゃ口などから住民の方へ給水できるように準備しておく。

市から供給された水を貯水槽に受けた後、利用者に給水する設備を「貯水槽水道」といいます。多くのマンションや集合住宅などで使用されている貯水槽水道は、設置者(管理者)が自らの責任で管理しなければなりません。適切な管理をよろしくお願いいたします。



水質検査の実施

じゃ口から出る水を定期的に検査してください(色・にごり・におい・味・その他の異常)。異常があれば、水質検査を専門機関へ依頼してください。

残留塩素の測定

残留塩素は0.1mg/L以上検出される必要があります。検出されない場合は、水の長時間滞留などが考えられます。定期的に測定しましょう。

貯水槽の清掃

年1回以上、定期的に専門の清掃登録業者に依頼し、清掃を行ってください。

貯水槽の点検

水槽に亀裂が無い、内部に異物が無いかなど定期的に点検してください。

貯水槽周辺の点検

水槽の周辺を清潔に保ち、水槽のふたやフェンスは必ず施錠してください。